

平成21年度公共事業等事前評価調書（簡易型）

(土石流被害の防止による評価)

(区分) 國補・県単

事業名	復旧治山事業（通常地域）	事業箇所	北都留郡 小菅村 川久保向	地区名	カワクボムカイ 川久保向	事業主体	山梨県
<p>(1) 事業概要</p> <p>①課題・背景 本箇所は、北都留郡小菅村川久保地区に位置する一級河川小菅川の右支流であるが、平成20年9月7日の台風の集中豪雨により渓流の荒廃が顕著となり、下流川久保地区への土砂流出のおそれが高まったため、土砂流出防止対策を早急に実施し、保全対象の保護を図る必要がある。</p> <p>②整備目標・効果</p> <p>□主要目標 <input checked="" type="checkbox"/> 土石流被害の防止 保全対象 人家18戸、国道50m、村道100m 田畠0.4ha 緊急性・危険度 11 ≥ 10点 ※ 被害軽減額 408 ≥ 340百万円 ※ (※: 評価基準値)</p> <p>□副次効果 <input checked="" type="checkbox"/> 被災時の被害波及の防止</p> <p>③目標の達成方法 不安定土砂の堆積箇所直下に治山ダム工を設置し、土砂流出防止及び渓床勾配の緩和を図り、土石流被害を防止する。</p>				<p>(3) 事業の妥当性評価</p> <p>①公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当・妥当でない ・森林法第41条第1項に規定された「保安施設事業」に該当</p> <p>②事業執行主体の妥当性（県が行うべきか） <input checked="" type="checkbox"/> ・森林法第41条第3項の規定により都道府県知事が整備</p> <p>③経済妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 費用便益費 便益(B)／費用(C) = 9.88 > 1.0 ・便益(B) = 1030百万円 ・費用(C) = 104百万円</p> <p>④事業実施・規模の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> ・堆積土砂の流出防止及び山腹崩壊地の復旧 土砂流出防止率 53% → 72%</p> <p>⑤整備手法の有効性 <input checked="" type="checkbox"/> ・保安林機能の回復を図る目的から治山事業による整備が有効</p> <p>⑥環境負荷への配慮 <input checked="" type="checkbox"/> ・切土盛土面は緑化し、裸地を残さない ・使用機械は排ガス対策型とし、環境負荷を低減する</p> <p>⑦事業計画の熟度 <input checked="" type="checkbox"/> ・地元小菅村からの強い要望あり</p> <p><妥当性評価> <input checked="" type="checkbox"/> ・7項目全て妥当であることから、実施が妥当と判断する</p> <p>(4) 事業間優先度評価 <input checked="" type="checkbox"/> ・貢献度ランク：a、副次効果ランク：1 ∴ 優先度評価：S I</p> <p>(5) 総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> ・(3)及び(4)の結果から「最優先で実施」</p> <p>【事業位置図等】</p> <p style="text-align: right;">省略</p>			
<p>(2) 整備内容と整備量</p> <p>①整備内容 谷止工1基 嵩上工2基 山腹工0.2ha</p> <p>②整備期間 平成22年度～平成23年度</p> <p>③総事業費 110百万円（国費54百万円）（補助率1/2）</p> <p>④全体計画 平成22年度 嵩上工2基 49百万円 平成23年度 谷止工1基 山腹工0.2ha 61百万円</p> <p>⑤既整備内容・期間・事業費 昭和42年～44年 谷止工3基、山腹工0.25ha 17百万円</p>							